

授業科目	相談援助演習 V				単位	1		
履 修	選択	関連資格	社会福祉士		ナンバリング	WE31227J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	荒木 剛、岡田 和敏、通山 久仁子、梶原 浩介							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>各福祉分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえて、地域福祉の基盤整備と開発に係る事例を活用し、その展開方法と必要な知識・技術の習得に向けた実技指導を行う。また、実習後には各自の実習体験を踏まえた集団及び個別による実技指導を行う。なお、本講義は、学生を4つのグループに別けて実施する。</p> <p>※演習内容に応じて、グループワーク、ロールプレイ、プレゼンテーションなどを行います。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 地域が抱える課題とその社会的背景について理解できる。</p> <p>2. 地域福祉の基盤整備と開発に係る相談援助の展開過程について理解し、実践できる。</p> <p>3. 地域福祉の基盤整備と開発に係る相談援助で活用される知識・技術について理解し、実践できる。</p> <p>5. 地域福祉(活動)計画の策定や福祉サービス評価の手法について理解できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	30	20	50	100	
知識・理解 (DP1-1)				3	2		5	
知識・理解 (DP1-2)				3	2		5	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				3	2	10	15	
思考・判断 (DP2-2)				3	2	5	10	
関心・意欲 (DP3-1)				3	2	5	10	
関心・意欲 (DP3-2)				3	2	5	10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)				3	2	5	10	
態度 (DP4-3)				3	2	5	10	
技能・表現 (DP5-1)				3	2	5	10	
技能・表現 (DP5-2)				3	2	10	15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 相談援助の実践モデル・アプローチに基づき地域課題の解決に向けた支援を検討できる。また、その支援を概念化・体系化し、他者に示すことができる。				1. 地域が抱える課題とその社会的背景について理解できる。また、課題解決に向けた知識・技術の活用を検討できる。				
2. 個別支援と地域支援の一体的展開について理解し、検討できる。				2. 個別の課題を地域の課題として一般し、解決に向けた取り組みを検討できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	【地域課題の理解】(担当:全教員) 地域が抱える福祉課題とその背景について解説・指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
2	【地域課題の理解】(担当:全教員) 地域が抱える福祉課題とその背景について解説・指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
3	【地域課題の理解】(担当:全教員) 地域が抱える福祉課題とその背景について解説・指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
4	【事例検討】(担当:全教員) 事例検討を通して、地域を対象とした支援において活用される技術(ニーズ把握、アウトリーチ、ネットワーキング等)について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
5	【事例検討】(担当:全教員) 事例検討を通して、地域を対象とした支援において活用される技術(ニーズ把握、アウトリーチ、ネットワーキング等)について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
6	【事例検討】(担当:全教員) 事例検討を通して、地域を対象とした支援において活用される技術(ニーズ把握、アウトリーチ、ネットワーキング等)について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
7	【実習後の実技指導】(担当:全教員) 後期実習での体験を踏まえ、相談援助で活用される知識・技術の習得に向けた集団及び個別指導を行う。 ※実習終了直後の授業で行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
8	【事例検討】(担当:全教員) 事例検討を通して、地域における社会資源の活用・調整・開発を働きかける具体的手法について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
9	【事例検討】(担当:全教員) 事例検討を通して、地域における社会資源の活用・調整・開発を働きかける具体的手法について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
10	【事例検討】(担当:全教員) 事例検討を通して、地域における社会資源の活用・調整・開発を働きかける具体的手法について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
11	【地域福祉計画】(担当:全教員) 地域福祉計画策定の視点と具体的方法について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
12	【地域福祉活動計画】(担当:全教員) 地域福祉活動計画策定の視点と具体的方法について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
13	【サービス評価】(担当:全教員) 福祉サービス評価の視点と具体的手法について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
14	【サービス評価】(担当:全教員) 福祉サービス評価の視点と具体的手法について指導を行う。	演習	当該テーマについての予習・復習	30
15	【まとめ】(担当:全教員) これまでの授業のポイントを整理・解説する。	講義	当該テーマについての予習・復習	30
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	相談援助の基本的視点及び課題解決に資する知識、支援技術を必要とします。			
テキスト	なし			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書:適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	新聞や関連雑誌等に目を通す習慣をつけ、地域に生じる福祉課題の現状について理解を深めておくこと。			
達成度評価に関するコメント	講義内での発表、課題の内容・提出状況、その他(授業への参加意欲・態度、グループワーク時の発言・リーダーシップ・協力度など)で評価します。 詳細は初回の講義で示します。			

